

平成三十一年度 学力検査問題

国語

(九時二十五分～十時十五分)  
(五十分間)

|      |   |   |
|------|---|---|
| 受検番号 | 第 | 番 |
|------|---|---|

注意

- 1 解答用紙について
    - (1) 解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
    - (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄二か所に受検番号を書きなさい。
    - (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
    - (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。
    - (5) 解答用紙の「印は集計のためのもので、解答には関係ありません。
  - 2 問題用紙について
    - (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
    - (2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十三ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25点)

怪我で野球を続けられなくなった、元エースの立石大河は、甲子園を目指すチームメイトを応援するため、吹奏楽部の不破瑛太郎に協力を願い出た。吹奏楽部は現在、テレビのドキュメンタリー番組で密着取材を受けている。

## 掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

# 掲載許諾申請中

(額賀滞著「ジョックロックに笑え」による。一部省略がある。)

(注) ※冒瀆……神聖・尊厳なものをおかしげがすこと。



問5 本文の表現について述べたものとして適切でないものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(5点)

ア「よく今日までばれなかったものだ」ここで練習する時点で〈大人しく〉ではないんじゃないかなにかのように、大河の心情が会話以外においても表現されている。

イ「大河をちらりと見た」大河からぶいっと目を逸らし」のように、擬態語を用いることによって、登場人物の様子や心情が印象的に表現されている。

ウ「ソロパートを高らかに歌い上げているようだった。ドキュメンタリーで見た、誰もいない朝の音楽室でサックスを演奏する彼自身みたいだ。」のように、比喩と倒置が効果的に用いられている。

エ「大河の声に、宮地は振り返ってくれた」のように、回想の場面を挿入することで、大河と宮地の関係性が次第に変わっていったことが象徴的に表現されている。

## 2 次の各問いに答えなさい。(22点)

問1 次の——部の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に改めなさい。(各2点)

- (1) 至福の時間を過ぐす。
- (2) 晩鐘が鳴り響く。
- (3) 毎日怠けずに練習する。
- (4) 改革のコンカンをなす。
- (5) 無限の可能性をひめる。

問2 次のア～オの中から、受け身の意味(用法)で用いられている助動詞を二つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

来週の日曜日、市民ホールで、地元出身のピアニストのコンサートが開催される。情感が満ちあふれる彼女の演奏を聴くと、自分の幼い頃が思い出される。そして、いつも涙がはらはらと頬を伝って流れる。有名なコンクールで最優秀賞を受賞した功績をたたえ、近々、彼女に市民栄誉賞が授与されるようだ。

問3 次の文の——部と同じ意味を表す四字熟語として最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

彼が直面している課題は、ほんの少しの間に解決できるような易しいものではない。

- ア 一朝一夕    イ 縦横無尽    ウ 深謀遠慮    エ 日進月歩

問4 次は、埼玉県に住む中学生のAさんの学級で、「新聞の投書記事」をもとに、話し合いを行っている様子です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(各3点)

【新聞の投書記事】

「お客さん」としてだけでなく

中学生 埼玉 花子

(埼玉県 13)

私の住む埼玉県では、2019年にラグビーワールドカップの3試合が、翌年には

主な対象は18歳以上であった。小中学生については、親子での参加や他の地域の活動も参考にしつつ、取り組みを検討していくと

東京2020オリンピック・パラリンピック

中学生に参加可能なボランティアの数は

競技大会の一部が開催される予定だ。どちらも観戦に行ってみたいのはもちろんだが、ボランティアとして関わってみることも興味がある。

少ないかもしれない。だが、世界的なビッグイベントが身近な地域で行われる。せっかくだから、「お客さん」以外の形でも関わられたらうれしい。私でも何かできることはないか、

大会ボランティアについて調べてみると、

今後も調べていきたいと思う。

話し合いの様子

司会「今日は、この投書記事について話し合います。意見や感想があったら話してください。」

Aさん「私は、この投書記事と同じように、ボランティアに関わることに興味はありますが、そもそも、そういった大きなスポーツイベントで中学生にも参加できることはあるのでしょうか。」

Bさん「私も、中学生が参加するのは難しいと思います。投書記事にあるように、中学生にできる活動はあまりないだろうし、勉強や部活動もあるので時間的にも難しいからです。」

司会「中学生にはボランティアへの参加は難しいのではないかという意見ですが、他の意見はありますか。」

Cさん「はい。投書記事に書かれているように、I のだから、何かお手伝いのようなことでもいいのでやってみたいと思います。活動の自身については、大人と同じようにとはいかないかもしれませんが、取り組めることはあるのではないのでしょうか。」

Dさん「私もその意見に賛成です。ボランティアにはいろいろなものがあります。活動に参加してみたら意外とできた、というものもたくさんあると思います。様々なボランティアをやってみることが大切なのではないでしょうか。」

司会「つまり、まずは中学生でもできるようなボランティアに挑戦してみよう、ということですね。」

Cさん「ボランティアには、道案内をしたり環境美化を行ったりするものもあると聞いたことがあります。」

Aさん「ボランティアにはどんなものがあるのか知りなくなりました。現在、行われているものについて、調べてみるというのはどうでしょうか。」

司会「では、中学生も参加しているボランティアについて、調べて紹介するということでよいでしょうか。」

(1) 【新聞の投書記事】と話し合いの内容をふまえて、Cさんの発言の空欄

I に

あてはまる言葉を、【新聞の投書記事】から十字で書き抜きなさい。

(2) つまり、まずは中学生でもできるようなボランテニアに挑戦してみよう、ということですね。とありますが、この司会の発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 考えの理由を明確にする役割。

イ 出された発言の内容をまとめる役割。

ウ 他に意見はないか求める役割。

エ 話し合いの目的を確認する役割。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25点)

掲載許諾申請中

# 掲載許諾申請中

(注) ※ディテール……詳細。細部。

(船木亨著「現代思想講義」による。一部省略がある。)







5 次の資料は、「読書量(マンガや雑誌を除く)」について、県内の小学生、中学生、高校生を対象に調査し、その結果をまとめたものです。

国語の授業で、この資料から読み取ったことをもとに「読書を推進するための取り組み」について、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。あとの(注意)に従って、あなたの考えを書きなさい。(16点)

## 掲載許諾申請中

【平成28年度「埼玉青少年の意識と行動調査」報告書】から作成

### (注意)

- (1) 段落や構成に注意して、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえて書くこと。
- (2) 文章は、十三行以上、十五行以内で書くこと。
- (3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。
- (4) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

(以上で問題は終わりです。)